

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

研究開発課題名:	皮弁移植後の血流監視技術の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	広島大学 学術・社会連携室 共同研究講座講師 松浦 康之

1. SCORE での活動目的

皮弁移植手術後に発生する血流障害に起因する皮弁の壊死を防ぐため、術後4日間は数時間毎に医師による血流評価が必要となるという課題を解決する、温度、カラー、赤外線等の非侵襲センサーを組合せた連続的な血流監視という技術を用いたビジネスモデル仮説を策定するとともに、顧客ヒアリングを進めて、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。主に、血流監視デバイスの Minimum Viable Products (MVP) の製作、MVP を用いた機能検証、及び、潜在顧客に MVP を提示してのビジネスモデル仮説の検証に取り組む。

2. 総合所見

ニーズの高いインドや国内でのヒアリングを通じて課題を把握し、適切で積極的な仮説検証活動を行い、デバイスの仕様の課題点を明確にした上でビジネスモデルを構築している点と、他の症例への応用可能性を検証した点を評価する。経営人材とのチームアップを進め、事業化を実現することに期待する。

以上